2026年11月13日

各　位

会社名　　株式会社ヒガシマル
代表者　　代表取締役社長　東　勤
（コード番号　2058　福証）
問合せ先　管理部部長　　末吉　俊哉
（TEL　099-273-3859）

2027年３月期第２四半期（中間期）の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想と実績値との差異

2027年３月期第２四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,466	104	104	78	19.79
実 績 値　（B）	6,821	242	245	134	33.91
増 減 額　（B-A）	△645	138	141	56	
増 減 率　（%）	△8.6	132.7	135.6	71.8	
(ご参考)前期実績 (2026年３月期第２四半期)	6,711	204	220	83	21.14

2027年３月期第２四半期(中間期)個別業績予想と実績値との差異(2026年４月１日～2026年９月30日)

	売上高	経常利益	中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,342	100	87	22.12
実 績 値　（B）	4,645	320	209	52.84
増 減 額　（B-A）	△697	220	122	
増 減 率　（%）	△13.0	220.0	140.2	
(ご参考)前期実績 (2026年３月期第２四半期)	4,465	256	554	140.18

２．業績予想と実績値との差異の理由

当第２四半期（中間期）連結累計期間の業績につきましては、水産事業において、赤潮や高水温への対応として実施された制限給餌や、台風の影響に伴う給餌停止等により配合飼料の販売数量が減少したことに加え、出荷サイズに達した養殖魚が少なかったことによる鮮魚取扱量の減少、さらに食品事業における価格改定後の販売数量の減少や一部販売アイテムの終売などにより、売上高は業績予想を下回りました。

一方、利益面につきましては、高付加価値製品の販売拡大、原材料調達の工夫および生産効率の向上によるコスト削減に取り組んだ結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも業績予想を上回りました。

個別業績につきましても連結業績と同様に、水産事業における配合飼料の販売数量の減少や、食品事業における価格改定後の販売数量の減少などにより、売上高は業績予想を下回りました。一方で、高付加価値製品の販売拡大や原材料調達の工夫、生産効率向上によるコスト削減が進んだことから、経常利益および中間純利益は業績予想を上回りました。

なお、通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後の業績動向等を精査し、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上